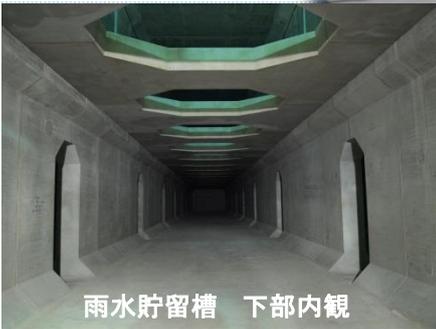


# VERTEX Information

『大容量、深い貯留水深に対応した大規模プレキャスト貯留施設』

## HS雨水貯留槽「M.V.P.-Deepシステム」

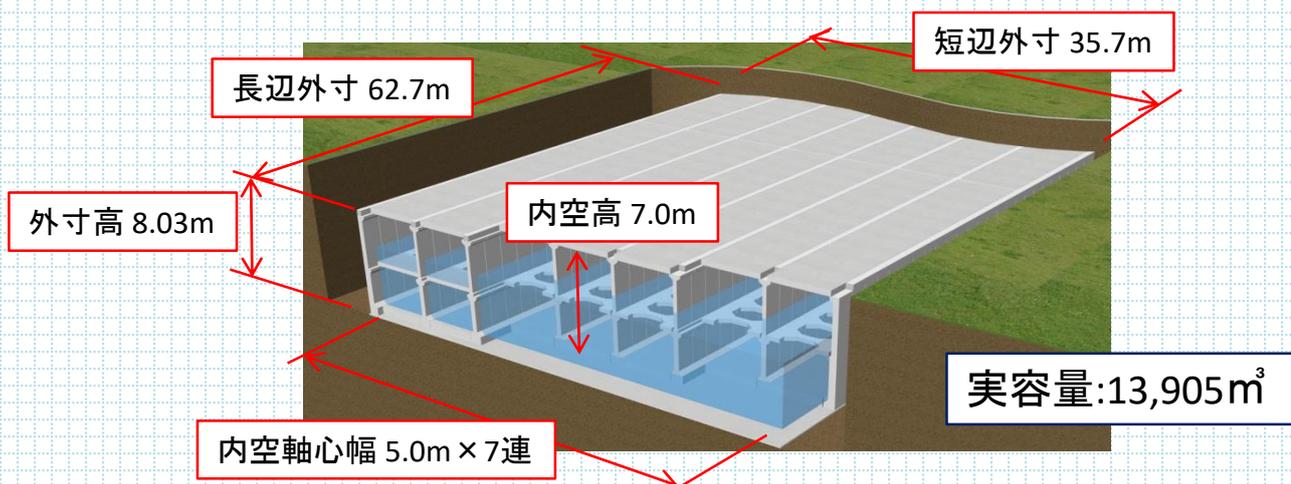


雨水貯留槽 下部内観



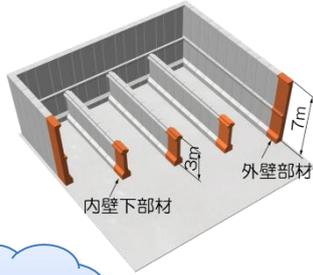
工事名	東茶屋調節池築造工事
施主	名古屋市緑政土木局
工事場所	名古屋市港区
工事期間	平成24年8月～平成24年12月(躯体施工)
概要	土地区画整理などで開発行為を行う場合、開発前より雨水が地盤へ浸透しづらくなり、浸水被害が生じることがあります。そのため、浸水被害の防止を図る目的で雨水を一時的に貯留する「雨水貯留施設」を計画しました。
採用ポイント	公園の地下に設置する計画で、以下のことから、本システムが採用となりました。 ①大幅に施工日数が短縮可能なプレキャスト工法である。 ②容易に維持管理を行えるように、貯水槽内部が空間式である。 ③プレキャスト部材が剛接合で部材厚が薄肉となり貯留槽の総重量が小さい。 また、内空スパンが広いことで基礎杭列数が少なくなり、トータルコストを抑えた。

### 工事概要図

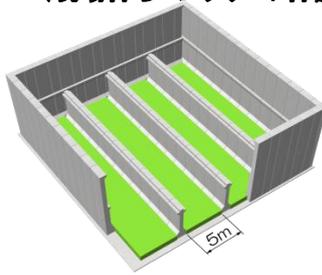


## 施工順序

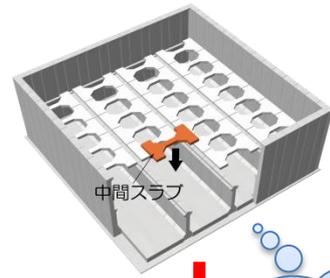
①外壁・内壁(下)据付



②底版スラブ築造  
(現場打ちコンクリート打設)

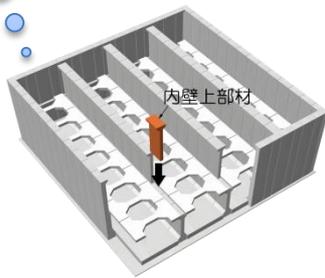


③中間スラブ設置



レッカー性能に応じて、内壁は上下一体タイプと上下分割タイプを適宜配置します。

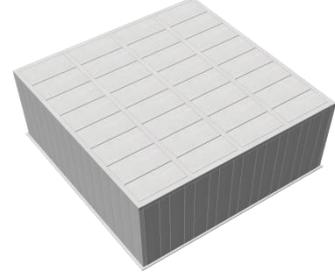
④内壁(上)据付



⑤頂版スラブ据付  
(現場打ちコンクリート打設)



⑥完成



中間スラブ設置後は、側方の埋め戻しが可能となります。(中間スラブ位置まで)

## 施工写真

1



外壁部材・内壁下部材 据付

2



中間スラブ 据付

3



頂版スラブ 据付

4



雨水貯留槽 上部内観

